

事業名 : 但馬歴史探究プロジェクト

団体名 : 但馬ヒストリア

## 1 事業内容

但馬の古代史に関する講演会を開催。

古代史講演内容を動画編集し YouTube 配信。

会報「豊姫の宝箱」を発刊。

古墳探検は企画したが雨天のため中止

フィールドワークでは、出石～久美浜へとアメノヒボコと子孫にまつわる神社を巡った。

養父～村岡の遺跡や資料館を見学、鉢伏山登頂し、磐座など巡った。

日時 2023年12月3日

場所 兵庫県立但馬文教府

内容 但馬ヒストリア講演会

「但馬に歴史を解く鍵～歴史の見方が変わる時がきた～」 古代史研究家 伴とし子氏

「天日槍命と二つの王家」 歴史研究家 佐藤 洋太氏

### 【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
8月	城崎周辺古墳巡り(中止)	城崎～竹野	
10月1日	アメノヒボコ縁の地巡り	出石～久美浜	40
10月7日	鉢伏山磐座登頂など古代巡り	養父～村岡	17
12月2日	講演収録	道の駅 あゆの里矢田川	15
12月3日	講演会	但馬文教府	38
2月24日	会報作成		3
	但馬ヒストリアホームページ作成		3

## 2 事業の効果

### (1) 団体（組織）内の効果

但馬ヒストリアという団体を設立したことで、他団体などと交流やコラボレーションしやすくなった。

また、但馬ふるさとづくり協会から、来年度事業の但馬五社巡りのガイドの依頼を受けた。

竹野の神話・探究グループからも竹野の古代と一緒に探究することとなった。

会員も増えつつある。

### (2) 地域への波及

但馬の古代をテーマにした講演会では、但馬地域は古代天皇家と繋がり、大和王権の先駆けとなる重要な地域だという歴史を知ることができ、但馬地域を誇りに感じ、また更に知りたいという探究心が多くの人の心に響いた。

フィールドワークでは、子どもたちが多く参加し、神社にお祀りされている神様は但馬を開拓された方たちだという事、先人は豊かさと子孫繁栄を望み今があることを伝えた。古代からの縁や歴史の流れに気付く機会となった。

## 3 協働の相手方

・古代丹波歴史研究所：講演会の企画、運営 ・古墳にコーフン協会丹但支部：ガイドの企画、運営

#### 4 今後の課題等

##### (1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

但馬ヒストリアの活動や探究内容を SNS や YouTube などを活用して広く知ってもらおう。

参加してもらいやすいイベントを考案し実行する。

会報を継続して発刊する。

ホームページを充実させる。

##### (2) 地域活動を拡大していくための工夫等

地元で根ざした、知って、体験する活動を増やしていく。

子どもたちや親世代に地元のルーツや歴史を伝える。

歴史を知ることは、アイデンティティを知ることであり、地域資源を知りこれからの活かす活動に繋げる。多角的に広く他団体と交流、関わりをもつ。

何事にも物事の始まりやルーツがあり、物語を必要としている団体などと協働して、ストーリーを一緒につくる。



5年10月1日 アメノヒボコ縁の地巡り



5年10月7日 鉢伏山磐座登山ツアー



5年12月2日 講演収録



5年12月3日 講演会